

安全データシート

改訂日:2020年3月16日

1. 化学品及び会社情報	
化学品の名称(製品名)	酸化銀
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社) (03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号	CA0266
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	酸化性固体:区分2 急性毒性(経口):区分5
物理化学的危険性	
健康に対する有害性	
GHSラベル要素	
絵表示又はシンボル	
注意喚起語	警告
危険有害性情報	火災助長のおそれ:酸化性物質 飲み込むと有害のおそれ
注意書き	【安全対策】 熱から遠ざけること。 衣類及び他の可燃物から遠ざけること。 可燃物と混合を回避する為に予防策をとること。 【応急措置】 火災の場合は、消火には水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、乾燥砂を使用すること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。 【廃棄】 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
3. 組成、成分情報	
化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	酸化銀
化学式	Ag ₂ O
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN:20667-12-3
濃度又は濃度範囲(含有率)	98%以上
官報公示整理番号(化審法/安衛法)	(1)-9
4. 応急措置	
吸入した場合	鼻をかみ、うがいをさせる。水でよく口の中を洗浄する。医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	製品に触れた部分を水で洗い流した後石鹸を用いて十分に洗浄する。痛み、違和感を感じる場合は、直ちに医師の手当を受ける。
眼に入った場合	速やかに清浄な水で最低15分間の洗浄を行う。直ちに医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師の手当を受ける。意識がある場合には、食塩水を飲ませて吐かせる。
5. 火災時の措置	
消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤(水素化炭酸塩を除く)、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	炭酸ガス、水素過炭酸塩の粉末消火剤
火災時の措置に関する特有の危険有害性	火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火を行う者の保護	消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。 保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用する。 全ての着火源を取り除く。 河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。 粉塵の立たない方法で出来るだけ掃き集め、空容器に回収し、後は多量の水で洗い流す。 該当情報なし。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材	
二次災害の防止策	
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体排気)	取り扱い場所には局所廃棄装置を設置する。使用後は容器を密封する。
安全取扱い注意事項	適切な保護具を着用し、皮膚、眼への接触を避ける。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。
接触回避	取り扱い場所には局所廃棄装置を設置する。使用後は容器を密封する。
衛生対策	取り扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	直射日光を避け、容器は乾燥した涼しい場所に密封して保管する。
安全な容器包装材料	ガラス
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度(出典)	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	0.01mg/Ag/m ³ (銀及び銀化合物)
ACGIH	未設定
設備対策	取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。作業場近くに手洗等の設備を設ける。 該当情報なし。
保護具	
呼吸用保護具	防塵マスク又は簡易防塵マスクを着用する。
手の保護具	ゴム手袋を着用する。
眼の保護具	ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	作業着を着用する。
特別な注意事項	
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	重い粉末
色	黒褐色
臭い	無臭
融点・凝固点	該当情報なし。
沸点、初留点及び沸騰範囲	該当情報なし。
可燃性	該当情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	該当情報なし。
自然発火温度	該当情報なし。
分解温度	130℃以上
pH	該当情報なし。
動粘性率(粘度)	該当情報なし。
溶解度	水に極めて溶けにくく、硝酸に溶けやすい。
n-オクタノール/水分分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	7.22
蒸気密度	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性	通常取り扱いに於て安定。
化学的安定性	光によって徐々に分解する。

危険有害反応可能性	可燃性物質や還元性物質と反応し、火災を発生するおそれがある。
避けるべき条件	光、熱、可燃物との混触
混触危険物質	可燃性物質、還元性物質
危険有害な分解生成物	銀及び銀化合物
11. 有害性情報	
急性毒性	経口-ラット LD ₅₀ :2820mg/kg (区分5)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	該当情報なし。(分類できない)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	該当情報なし。(分類できない)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	該当情報なし。(分類できない)
生殖細胞変異原性	該当情報なし。(分類できない)
発がん性	該当情報なし。(分類できない)
生殖毒性	該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性(単回暴露)	該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性(反復暴露)	該当情報なし。(分類できない)
誤えん有害性	該当情報なし。(分類できない)
12. 環境影響情報	
生態毒性	該当情報なし。
残留性・分解性	該当情報なし。
生体蓄積性	該当情報なし。
土壤中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意	
国連番号	1479
品名(国連輸送名)	その他の酸化性物質(固体)
国連分類	クラス5.1(容器等級ⅡにつきGHS分類は酸化性固体区分2とした。)
容器等級	Ⅱ
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	140
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	指定化学物質に該当しない
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない
消防法	危険物に該当しない
16. その他の情報	
参考文献	16615 の化学商品(化学工業日報社) 職場の安全サイト(硝酸銀SDS)(厚生労働省HP) 化学物質安全性評価シート(硝酸銀) GHSの挑戦(化学工業日報社) GHS対応ガイドライン(日本化学工業協会)
その他	記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。